

川東見守り隊を中心とした 地域ぐるみで見守り活動について



川東見守り隊

吉松 幹男

川東町について

H30.8月末時点

1 世帯と人口

417世帯／835人

2 高齢者世帯、人口

180世帯／274人

3 高齢化率

32.8% (市全体28.3%)



- ・産業としては、主として農業、一部に黒毛和牛の大規模酪農家
- ・集落の西端を一級河川が流れている（肝属川）。
- ・旧海軍の航空隊があったところで、ゼロ戦が格納されたコンクリートの庵体壕が残っている。

川東見守り隊について



1 発足：平成24年11月

☆地域住民との話し合いとアンケート調査を数回重ねて
要求内容と我々が出来る事を徹底的に精査しました。



2 協力員：26人（65歳以上が88%）

3 対象者：41人

4 活動内容

（1）基本的な考え方

活動は自分の範囲で出来る事、出来ない事や難しいことは民生委員や町内会へつなぐ。

（2）活動頻度

協力者26名がそれぞれ月2回以上行っている。

重複して見守っているため、対象者からすると数

人の協力者に見守られていることとなります。⁴

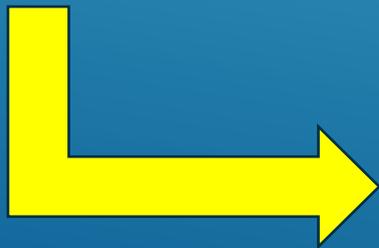
(3) 活動詳細

- ①安否確認
- ②話し相手
- ③簡易な作業
- ④台風防護
- ⑤町内美化活動
- ⑥町内イベントへの送迎
- ⑦定例会の開催
- ⑧在宅棒の紹介



話し相手になる事が一番！！

コスモスの 種まき



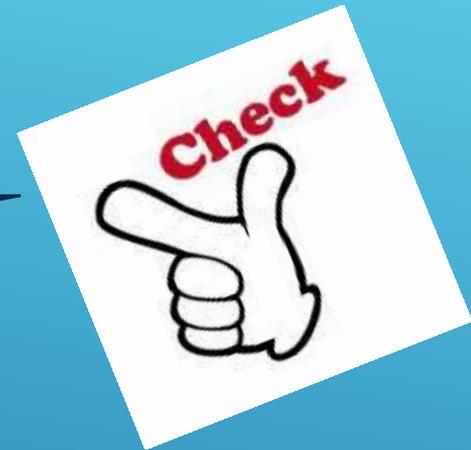


在宅棒



課題と対策について

(課題) 活動に対する意気込みが発足当時に比べ低下し活動が下火になること。



(対策) ①協力者にノルマを課さない。

②定例会内容の工夫

③元気度アップポイントの還元（県の事業）

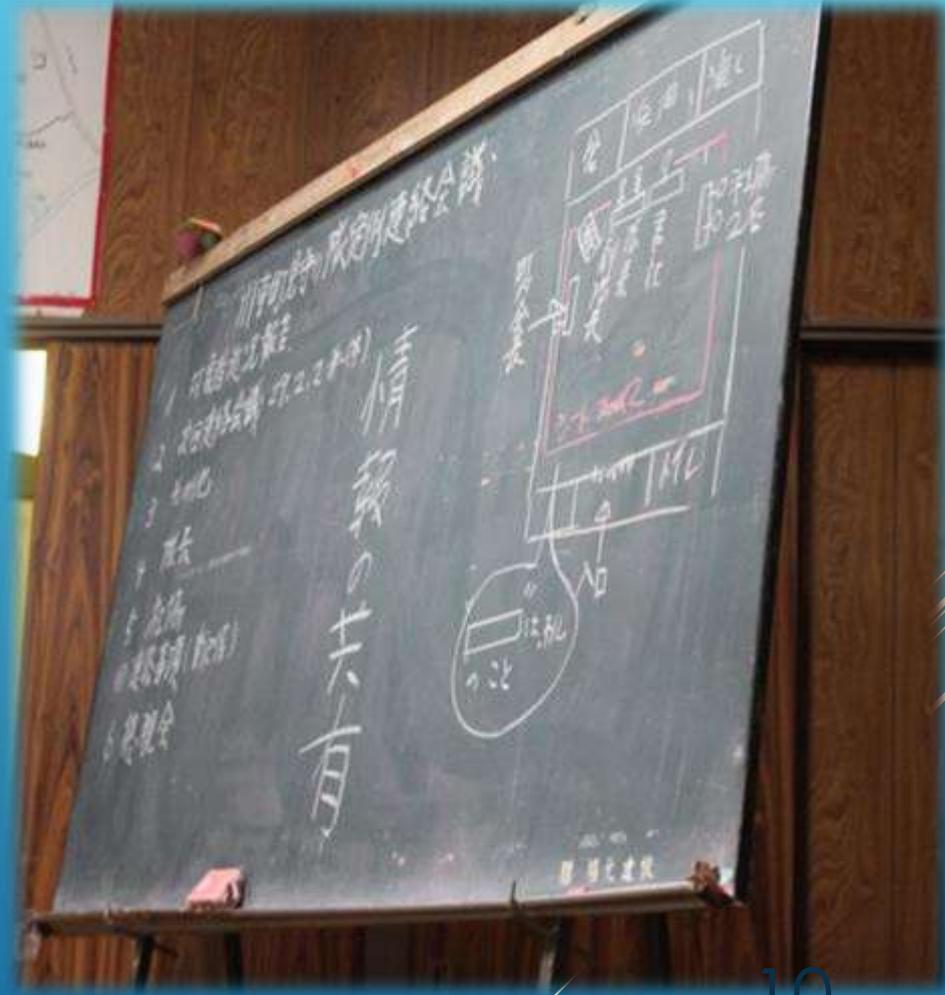
④協力員の連帯（仲間）意識の醸成

ア 慰労会の実施

イ 対象者情報の共有

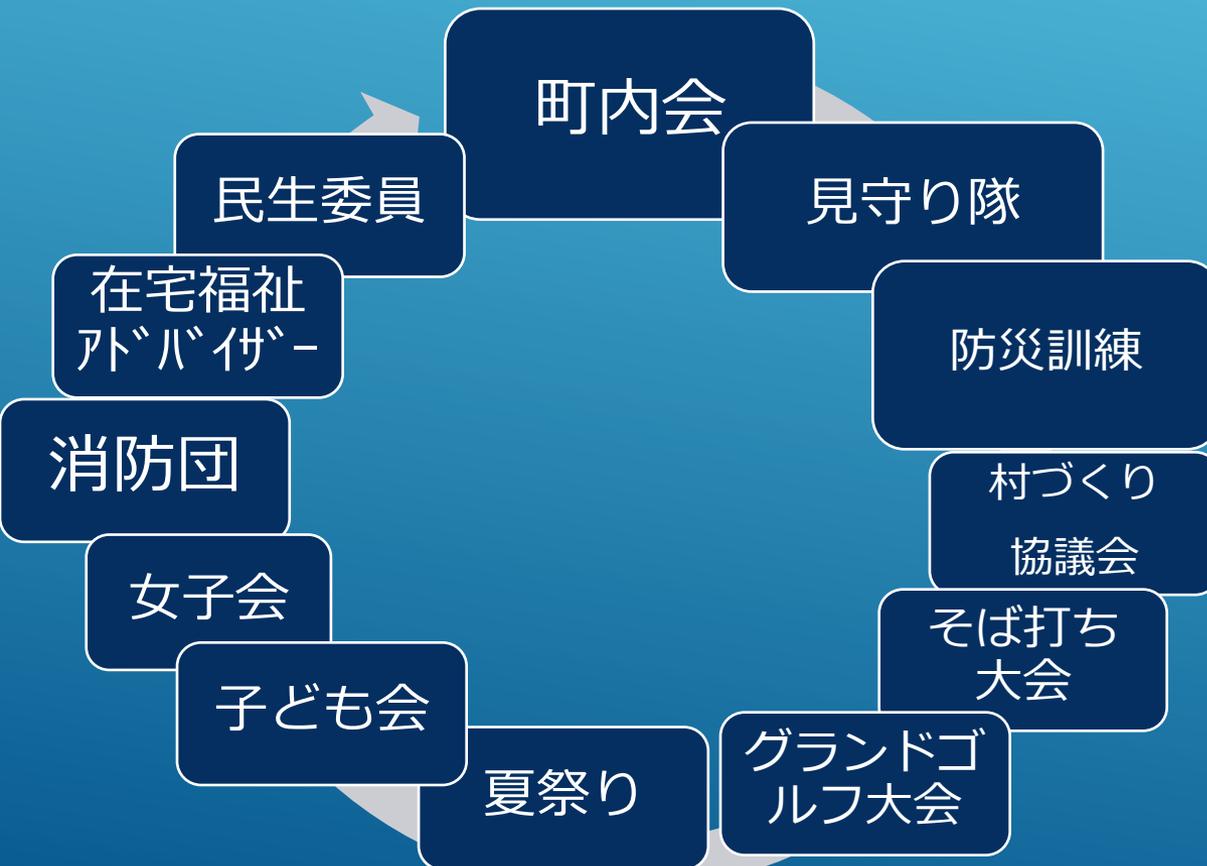
⑤連絡会議に関係者を招待

定例会の様子



孤立を生まないために①

助けてと言える地域に



住民同士の
関わりの
連続性

孤立を生まないために②

おせっかい屋になる

(物理的には)

訪問頻度を上げる

(内面的には)

自分力を上げ他を感化する

孤立を生まないために③

人と友達になる方法



縁先のネコ



「内なる充実感と自己満足感」

